

# スクールホットライン

## 「学校保健委員会（すこやか集会）」

from 豊山小学校

十一月二十七日(水)、学校保健委員会(すこやか集会)を開催しました。名古屋グランパスエイト管理栄養士の河村美樹氏を講師に招いて、「プロサッカー選手の仕事から学ぶ『元気ごはん』」という演題で、お話を聞きました。小学生にとって、これからの成長に必要な栄養のとり方やバランスの良い食事の仕方について教えていただきました。

プロサッカー選手が、普段食べる食事についても映像で紹介され、その量の多さや栄養バランスの良さにみんな驚いていました。



また、グランパスエイトマスコットキヤラクターの「グランパスくん」と「グララちゃん」も来校し、給食の時間に教室を回りました。魚と野菜の栄養に関するクイズを通して、食事の大切さを教えてくれました。

サッカー部やクラスで記念写真を撮り、子ども達は、大喜びでした。「いつもお肉ばかり食べていたけど、これからは野菜もしっかり食べようと思います」「朝ごはんを食べると、朝のスイッチが入って、集中力がアップするので、朝ごはんが大切だと分かりました」などの感想も聞かれました。



まなびすと

### 第六十二話

### 昔の伊勢参り

名古屋の熱田神宮と三重県の伊勢神宮の間を走る全日本大学駅伝は冬の陸上界の一大イベントですが、その昔、伊勢神宮の参拝は誰でも歩いて行ったものでした。

慶応二年生まれの方がまだ十二・三歳の少女の頃、今から百三十年くらい前のことです。父親について伊勢参りに行った時のお話です。

出発の朝は早く起き、身支度を整えます。家族とはもう二度と会えないかもしれないという気持ちで家を出て、道中は氏神様に安全を祈願しました。名栗の元の鳥居(現在の「鳥居前」という地名あたり)のところまで親戚知人に送ってもらい、ここで別れて旅立ちます。熱田の宮の渡しまで十キロも歩き、七里の渡しにかかりました。海上路を桑名へ渡る船旅も



無事に過ぎ、そこからまた歩きです。一週間ほどかけて、伊勢へ着きます。今なら、高速道路や特急電車を使って日帰りの出来る距離です。帰りも一週間かかります。豊山に着くと、名栗の鳥居前で大勢の出迎えを受け、無事参拝を終えたことを喜んでお祝いのお菓子を投げたり、配ったりしたそうです。今は昔の物語です。(豊山町文化財研究会の郷土文集を参考にしました)

